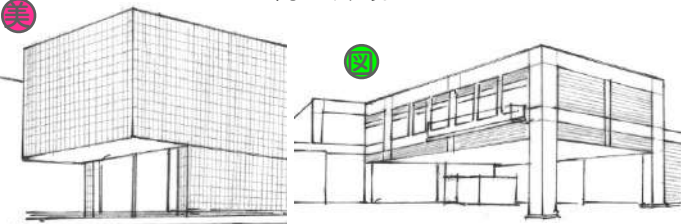


県民文化の森の”いとこ似”を探して

『県民文化の森』2大文化施設 岐阜県美術館・岐阜県図書館は、お互い似ているところがいくつもある事を発見！それはそっくりではないけれども何か共通点を感じる“いとこ似”。あなたもこれらの“いとこ似”感を体感すべく、一度じっくり鑑賞してみてください。

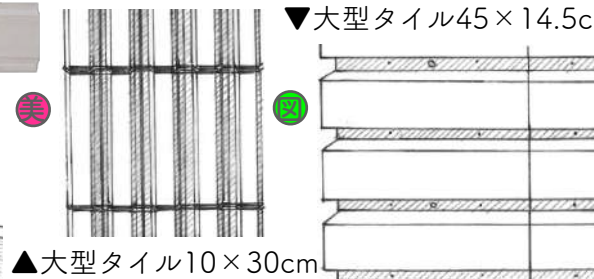
1 外観

四角い外観



2 壁タイル

▼大型タイル45×14.5cm



▲大型タイル10×30cm

4 天窓

天窓よりルーバーを介した間接光

天窓より直接光

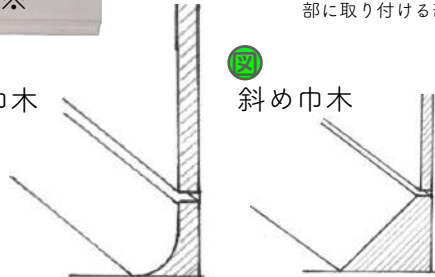


3 巾木※

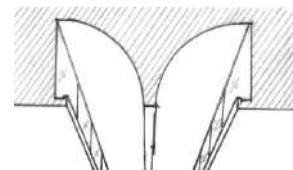
※巾木(はばき)：床面に接する壁の下部に取り付ける部材

曲線巾木

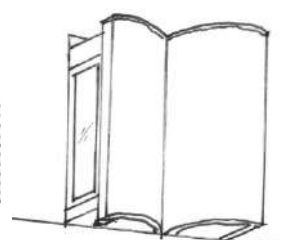
斜め巾木



5 開いた本？



半円形の展示室
天井



本形に見える
外壁窓

ここも
チェック！

『県民文化の森』2施設をスムーズに行き来できる段差のない横断歩道は美術館と図書館を優しく繋ぐ。ガス灯と石畳風タイル敷きでとても趣のある道

宇佐ガス灯通り



びじゅつかんの椅子を外向け隊！②
《タイルと作品86-STと光 編》

シロタの個人美術館
Spotify
プレイリスト



▲《作品86-ST》郭仁植



Spotifyで
聴くことが
できます

M-1	Cicada / Dawn After Darkness
M-2	折坂悠太 / 鯨
M-3	徳澤青弦 / 森の朝
M-4	矢野顕子 / ふなまち唄PART II
M-5	Kim Kashkashian, ミュンヘン室内管弦楽団 Alexander Liebreich / Are Animals
M-6	John Cage, Sanggar Ceraken of Bali, John Noise Manis / Prelude For Meditation
M-7	高木正勝 / Marginalia#61
M-8	青葉市子 / ohayashi
M-9	Milton Nascimento / Tudo O Que você Podia Ser
M-10	Kayanza/Salutation Akazéhé

館で聴いてくださる場合は
イヤホン使用をお願いします

占師・県美外壁タイルのシノさん

◆1月生：好きなアートを観て免疫力アップ。映画鑑賞が吉。
◆2月生：お気に入りの靴でお出かけが吉。ラッキーカーラーは金。
◆3月生：ハンドメイドがおすすめ。ステキを食べ運気ノノ。
◆4月生：ハーブティーを飲んで気分転換！梅のケーキが吉。
◆5月生：目標達成できるかも☆足裏マッサージでリフレッシュ！

◆7月生：純喫茶でのおんびりデートが吉。ラッキーカーラーはピンク。
◆8月生：旅行の予定は今からしておくと吉。甘酒で健康運ノ。
◆9月生：野良猫と目があうと良い事があるかも☆蜂蜜が吉。
◆10月生：キツネの掃除で運気上昇！良い香りのキャンドルが吉。
◆11月生：県美庭園で植物を愛でると運気アップノ！三色団子が吉。
◆12月生：モチ期到来。早起きで健康運ノ！ラッキーカーラーは赤。

編集後記



中面の彫刻たちを見てたら1つ1つ選曲したくなってきてしまった…今後もきつとどこかで勝手にやります。超個人的見解プレイリスト(シ)

オオカマキリ観察も4年目、庭で発見したカマキリの卵。子カマキリの成長が楽しみ。(ト)



最終号となり、さびしい限りですが、またどこかでお目にかかれたら幸いです。(タ)

タイムズが終わってもマダムはいつでもお池の中にいます。皆さんこれからもよろしくね。(ヨ)

2023
最終号

発行：～ながラー
県美帖丸
(シミズ / タナカ / コノ / ヨシハラ)

パンフレットには載ってない岐阜県美術館
の魅力をお伝えするフリーペーパー

～ながラータイムズ

TAKE
FREE



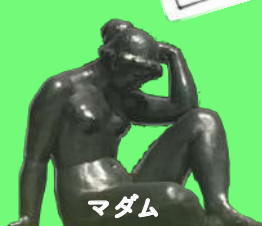
県民文化の森 岐阜県美術館
岐阜県図書館 と
ハツ草公園には合わせて
37もの野外彫刻があるん
だがこれって結構すごい事
なんじゃないか!?

と、いうわけで
彫刻まるけの

美術館・図書館・ハツ草公園
を楽しむ尽くす
『石を見ながラー』MAP!

ゆかれ

マダムに聞いてみた
～お池の中から貴方をお迎え～



《地中海》アリスティド・マイヨール (1902-05)

Q マダムさん残念なお知らせです。実はタイムズが最終号になるんです。長い間ありがとうございました。いつも聞いてもらってばかり。私でよかったら最後にマダムのご相談を伺ってみたいと思いました。(担当 ヨシハラ)

A 最近はお楽しみ事の一つだったのに、残念ですわ。お友達の副館長と今年こそ紙面放談を！と思っていたのに。でも仕方のないことね。新しい方々がまた私と遊んでくださる日を待つことにします。ここで皆さんを見送るのも私のお仕事だから、置いてけ堀は慣れっ子。ま、ここはお池だけれどね。うふふふ。また顔を覗き込みに来てちょうだいね。待ってますよ。そういえば相談では無いのだけれど、時々このお別れの季節になると思い出すが…開館して程なく、たくさんの方のお仲間たちがお庭に訪ねていらしたようだったの。賑やかになって良かったと思っていたら、いつの間にか静かになっていて…何せ視線を上げられないでしょ。だから、あれは幻だったのかしらと。

……長良川大賞野外彫刻展作品

《ハープをひく子供たち》
(作者・制作年不明)▼



▲《友愛》
(作者・制作年不明)



▲《始考》近藤久義(1983)



▲《Fawa・母・》小倉裕久
(1983)



▲《風来人》青木正弘(1983)



『石を見ながラー』MAP

※「長良川大賞野外彫刻展」は、「石の中の対流」をテーマに岐阜の石材も使用した石彫の企画展でした



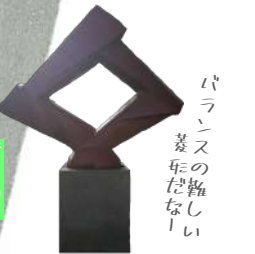
▲《環》岡田康司(2009)



▲《西方の館》玉井正爾
(1983)



▲《不安なる外景》
水野幸道(1983)



▲《目の中の水平線》
佐木謙介(1983)



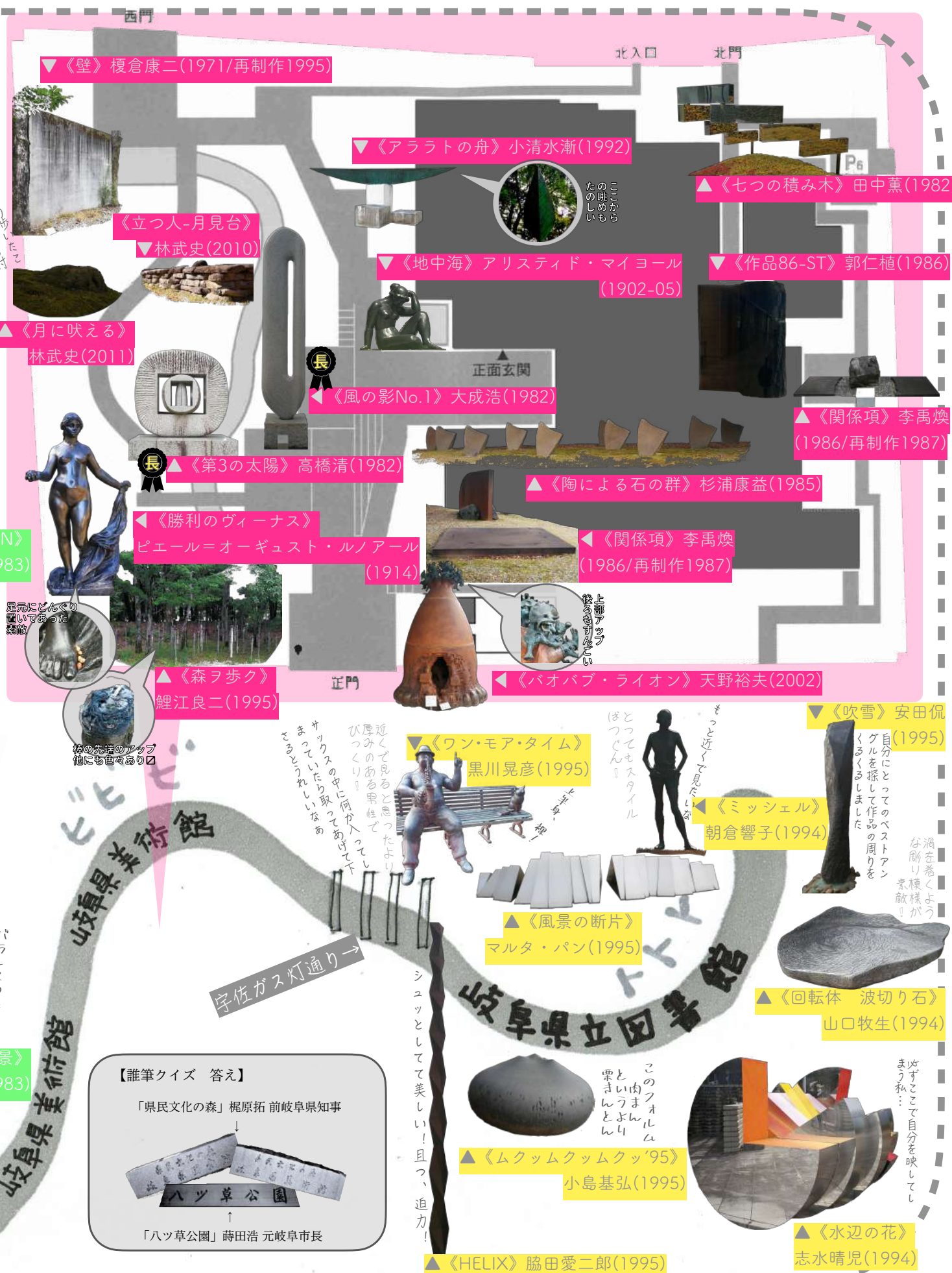
…すごい数！こうして3カ所の作品を勢揃いさせてみて数の多さを初めて実感。これだけの作品が軽いお散歩程度の距離の範囲内にギュッと、更に自由に見られる環境にあるというのは実は結構すごい事なんじゃないかと。この県民文化の森にある様々な作品と木々の緑をもっと県民の皆さんに(県民以外も)存分に感じてほしい過ぎてMAPにしました。

3カ所イッキ見鑑賞散歩ルートの一例として…

紙面左・ハッ草公園北東側(岐阜市科学館側)にある彫刻《始考》からスタートして公園内南側を道なり→横断歩道を渡り美術館西門や北門から入り美術館をくるっ→一周→正門を出て段差のない横断歩道を渡り図書館…の中へと進む前にガス灯通りにある《ワン・モア・タイム》と《HELIX》を鑑賞→図書館へというのをご提案。

この量を鑑賞して十分お腹いっぱいかとは思いますが、ぜひ裏面の〔田中の目線〕で“建物偏愛者”田中が見つけたポイントも併せてご覧いただけたなら、それはそれは編集部一同最高の喜びで御座います。

マダムに聞かれてた(※表紙面ご参照ください)「一時期、美術館の庭園に彫刻仲間がもっと居たような…幻？」の件。編集部調べによると——1982年11月に開館した岐阜県美術館。それを記念して『長良川大賞野外彫刻展』が美術館庭園にて開催された。そしてこの展示作品らは(当時まだ建設途中だった)ハッ草公園に設置し、緑の中彫刻作品を楽しめる場所にという当初からの計画通り公園へ移動設置された——という事のようなのでマダムの記憶は開館からの数ヶ月の時期の出来事って事になりますかねー。決してマダムの気のせいではなかったですよ！ちなみに、伏し目がちなマダムは気づいていらっしゃるかなー？長良川大賞作品の中の2作品はマダムの横目でギリ視界に入るくらいの位置に今もずっと居ることを…



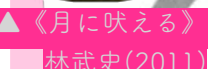
▼《壁》榎倉康二(1971/再制作1995)



▲《立つ人-月見台》
▼林武史(2010)



▲《月に吠える》
林武史(2011)



▲《第3の太陽》高橋清(1982)



▲《勝利のヴィーナス》
ピエール＝オーギュスト・ルノアール
(1914)



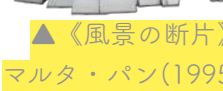
▲《森ヲ歩ク》
鯉江良二(1995)



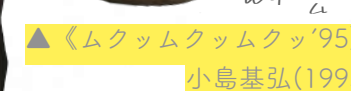
▼《ワン・モア・タイム》
黒川晃彦(1995)



▲《風景の断片》
マルタ・パン(1995)



▲《ムクムクムクッ'95》
小島基弘(1995)



▲《HELIX》脇田愛二郎(1995)



▲《七つの積み木》田中薫(1982)



▼《作品86-ST》郭仁植(1986)



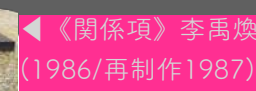
▲《関係項》李禹煥
(1986/再制作1987)



▲《陶による石の群》杉浦康益(1985)



▲《関係項》李禹煥
(1986/再制作1987)



▲《パオバブ・ライオン》天野裕夫(2002)



▼《吹雪》安田侃
(1995)



▲《ミッシェル》
朝倉響子(1994)



▲《回転体 波切り石》
山口牧生(1994)

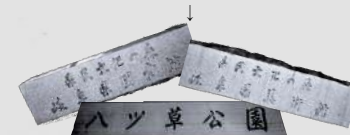


▲《水辺の花》
志水晴児(1994)



【誰筆クイズ 答え】

「県民文化の森」梶原拓 前岐阜県知事



「ハッ草公園」 蒔田浩 元岐阜市長